

計画事業番号	00098	事務事業名	長寿祝福事業	担当部署	保健福祉部 高齢者支援課	電話	816
--------	-------	-------	--------	------	-----------------	----	-----

【基本情報】

事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	北広島市敬老祝金条例				
事務事業開始年度	昭和50年	個別計画等	高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画				
〃 終了予定年度							
ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	単独	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系	(第 1 章) 支えあい健やかに暮らせるまち						
	(第 5 節) 高齢者福祉・介護の充実						
	(施策 1) 生きがいと社会参加の促進						
2 対象	満100歳の高齢者						
3 目的と内容	長寿を祝福するとともに、社会貢献を労うため、祝金を贈呈する。						
4 実施内容 (手段)	27年度まで	満100歳になられた市民に対し、5万円を誕生日(後)に贈呈する。					
	28年度	昨年と同様であるが、満100歳になられた市民に対し、5万円を誕生日(後)に贈呈する。					

【事業の計画・実績】

平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	計画
満100歳の市民に祝金を贈呈16名	満100歳の市民に祝金を贈呈12名	満100歳の市民に祝金を贈呈17名	満100歳の市民に祝金を贈呈24名	満100歳の市民に祝金を贈呈24名	満100歳の市民に祝金を贈呈23名	満100歳の市民に祝金を贈呈23名	満100歳の市民に祝金を贈呈23名

【評価結果・評価コメント】

総合判定		平成29年度に向けた具体的な方向性			評価区分
前年度 2次評価	現状継続	現状継続とする。			「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統合」 「休止・廃止」 「終了」
1次評価	現状継続	現状継続とする。			
2次評価	現状継続	現状継続とする。			

【事業費の推移】

(単位:千円)

			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
決算額、当初予算額又は推進計画額			625	1,031	1,032	1,393
事業額	直接事業費	国支出金	0	0	0	0
		道支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0
		一般財源	625	1,031	1,032	1,393
		① 合計	625	1,031	1,032	1,393
	人件費	② 人数(年間)	0.01	0.01	0.01	0.01
		③ 1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
		④ =②×③	90	90	90	90
総事業費①+④			715	1,121	1,122	1,483

【評価指標】

指標名		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① 満100歳の方	目標値	16	17	24	23
		実績値	12			
	②	目標値				
		実績値				
	③	目標値				
		実績値				
	④	目標値				
		実績値				
成果指標	① 【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値				
	② 【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値				
	③ 【指標の定義(算式等)】	目標値				
		実績値				

【評価項目】

チェック項目	評点	コメント
妥当性 ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかという妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	100歳という長寿を祝福するとともに、これまでの社会貢献を労い、お祝いを贈呈することは妥当である。
達成度 ・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	満100歳を迎えた方、全員にお祝い金等を贈呈している。
成果向上 ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	3	お祝い金等を贈呈するという事業の性質上、成果の向上を求めるものではない。
経済性 ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	お祝い金等を贈呈するという事業の性質上、成果の向上を求めるものではない。

【法律で実施が義務付けられている事務事業か】	<input type="checkbox"/> 法律の義務付けあり	<input checked="" type="checkbox"/> 法律の義務付けなし
------------------------	------------------------------------	---

【民間活力の活用性評価】 (事業担当部局が評価)	<input type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働が可能である。	<input checked="" type="checkbox"/> 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。
-----------------------------	---	---